

「好奇心」

「暴れん坊将軍」という時代劇があった。衛星放送などで再放送されているので、見たことがある人もいるだろう。シリーズ化された人気時代劇だ。主演は「マツケンサンバ」で知られる松平 健さん。舞台は江戸時代、8代将軍・徳川吉宗が、旗本の三男坊に姿を変え、江戸の町民と交流しながら、世にはびこる悪を斬る勧善懲悪のドラマである。実際に将軍が市中に出て、そんなことをするはずもなく、あくまでもフィクションなのだが、徳川吉宗にはかなりの好奇心があったらしい。

昨日、NHK衛星放送で放映された「英雄たちの選択」という番組で、徳川吉宗を取り上げていた。番組紹介のHPには「江戸中期、それまで輸入に頼っていた薬草の国産化に挑み、10年以上かけて困難なプロジェクトを成功に導いた将軍がいた。江戸幕府8代将軍・徳川吉宗。享保の改革で財政を立て直した『米将軍』として知られるが、彼が情熱を注いだもう一つの改革があった。自ら選び抜いたメンバーを人里離れた山や谷へと送り、薬草を求めて、日本中を徹底調査し、70種以上の薬草を見つけ出し、幕府による大規模栽培を行った」と記されている。

吉宗の好奇心は強く、江戸を訪れたオランダ特使に様々な質問をしたという逸話がある。キリスト教関連以外の書物に限り洋書の輸入を解禁し、蘭学ブームが起こるきっかけをつくった。また、自ら注文してベトナムからゾウを輸入、長崎から江戸まで陸路で運ばせたので、江戸にゾウ・ブームが巻き起こったという。目安箱を設置したのも吉宗である。さらに、軍事訓練を兼ねた大規模な捕鯨を実施させ、その際は自ら観覧したという。

好奇心とは、珍しいことや未知のことなどに興味をもつ心。「なぜ?」「どうして?」と疑問にもち、考えることは知的好奇心を高めることになる。疑問に思ったことは調べてみる。図書館でもスマホでも、いろいろ調べる方法はある。それは将来、社会で求められる力・問題発見能力や問題解決能力につながるのではないか。

3月2日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 A、Bは整数で、AはBより大きく、Aを6で割ると3余り、Bを6で割ると5余るといいます。次の文字式で表される数を6で割ったときの余りはいくつでしょうか。

① $A - B$

② $3A + 2B$